

こうしゅつ 市議会広報



37号

2015. 1. 30 発行
山梨県甲州市議会

- 特集 12月定例会レポート 議案の審議 P2~
・ぶどうの丘民間委託条例案は賛成8・反対9で再び否決
- 議案等議決結果一覧表 P5
- 一般質問 8人の議員が市政を問う！ P6~
- 市民フォーラム「2015年、わたしの抱負」 P15
- 常任委員会レポート P16~



市消防団出初式での勇壮果敢な放水

平成26年甲州市議会12月定例会は、12月3日から12月22日までの20日間の会期で開かれ、条例案、各会計の補正予算案、請願、議員発議案など17件の事件について慎重な審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

勝沼ぶどうの丘 管理・運営権の民間委託条例案

賛成8・反対9で再び否決

5人の議員が討論

◆甲州市ぶどうの丘施設の指定管理者による管理及び公共施設等運営権の設定に関する条例制定について

必要な事項を定めるため提案されたものです。

は、ぶどうの丘事業に係る施設の管理及び運営について、民間の資金、経営能力及び技術能力その他民間活力を活用し、施設整備等の促進を図るとともに、より

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に反対討論
相澤俊行 これまでの市当局の説明に一貫性がなく、議会を軽視している。また、条例案、実施方針の身上に疑義がある。全国の自治体でも導入実績のないPFIコンセッション方式の運用に対し、懸念される事項が多々あり、予測できない事態への対応に、最終的には市民が不利益を被る可能性を排除することができない。

■委員長報告に賛成討論
矢野義典 ぶどうの丘の

良好なサービス提供の確保とその設置目的の効果的な達成を図るため、地方自治法に基づく「指定管理者制度」及び「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき公共施設等運営権方式を導入することに伴い、

本条例案を付託され審査を行った建設経済常任委員会では、現地視察を実施するなど内容の精査を行いました。委員間で賛否の意見が拮抗し、起立採決の結果、「可決すべきもの」としました。本会議では、委員長報告に対し、討論・採決が行われ、起立採決の結果、賛成少数で否決しました。

■委員長報告に賛成討論
平塚 義 施設オープン以来、公営という安心感から多くの来場者を迎えてきた。昨今の財政難や不況で、今後の運営が厳しくなることは承知しているが、地域住民への十分な説明がない。多くの市民はぶどうの丘が地域に貢献し、産業発展や福祉向上に役立つことを願っており、時間をかけて議論を尽くす必要がある。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要な事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要な事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要な事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要な事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要な事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

必要な事項を定めるため提案されたものです。

本条例案は9月定例会において、市民の理解や情報公開、条文及び短期・中期長期修繕計画などのさらなる精査が必要であることなどを理由に否決しましたが、今回、内容が一部変更され、再提案されました。

■委員長報告に賛成討論
川口信子 近年のぶどうの丘事業決算を見ると、事業費用に対し、事業収益は1割台から4割台を推移している。経営努力次第でさらに収益を上げれば、施設の修繕・更新費用を賄えるはずである。管理・運営権を民間委託すれば、これまぶどうの丘が行政と一緒に担ってきた役割と使命は果たすことができなくなる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

■委員長報告に賛成討論
岡部紀久雄 再提案された条例案では「運営権がある事業者から別の事業者に移る際に、議会の議決を要しない」とする趣旨の条文が削除されたことから、議会に付託された重要な権限である議会の監視機能が担保されるとともに、運営に関する情報が素早く提供され、市民の声が反映できるものと考えられる。

※本会議においての議決結果等は5頁を参照

一般会計補正予算案は

動議により修正可決

◆平成26年度甲州市一般会計補正予算(第8号)は、勝沼ぶどうの丘の管理・運営権の民間委託条例案の否決に伴い、議長を除く全議員から修正動議が提出され、当該条例に係る経費を削除しました。

今回の補正は、4億4336万4000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ217億688万8000円としました。主な歳出内容は、**総務費**としてふるさと支援基金積立金等に9442万6000円、**民生費**として生活保護施設事業費等に1億1990万9000円、**農林水産業費**として県営担い手支援型畑地帯総合整備事業費等に1億585万円、**公債費**として長期債元金償還金に1億8838万3000円を追加し、**衛生費**は

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合負担金等を1億84万5000円減額するものです。主な歳入内容は、**国庫支出金**に3213万5000円、**寄附金**に6047万円、**繰越金**に1億451万円、**市債**に2億3381万6000円を追加するもので、修正可決しました。

◆甲州市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制

「財政課」を「財務経営課」に改編

◆甲州市行政組織条例の一部を改正する条例制定については、行政経営機能の一層の推進と行政経営機能の充実、インフラ更新問題への

の重点的対応、新たな地方公会計制度への対応策として、平成27年4月から「財政課」を「財務経営課」に改編することについて所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定については、国において、産科医療補償制度の見直しと併せ、平成27年1月以降の出産育児一時金の金額の見直しが行われることを踏まえ、国民健康保険における出産育児一時金の支給額について所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定については、子ども・子育て関連3法により、児童福祉法の一部改正が行われ施行されることに伴い、市町村が条例で定めることとされた放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準について、同法の規定により、その制定に当たり、「従い、または参酌すべき」とされた国の基準を踏まえ制定するもので、可決しました。



各常任委員会を含め20日間の会期で開催された12月定例会



勝沼ぶどうの丘の民間委託条例案について行われた採決

*会議中に予定した議案以外の事項を議事に付するため議員から発議すること

議案の審議

市内3施設の

指定管理者を指定

◆市内3施設における指定管理者の指定について、可決しました。

指定先は、甲州市菱山宮農センターをフルーツ山梨農業協同組合（塩山上塩後）に、甲州市交流保養センターを株式会社セイウン（埼玉県さいたま市）に、甲州市勝沼B&G海洋センター

を株式会社スポーツプラザ報徳（神奈川県小田原市）としました。

請願を採択し 意見書を提出

◆「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める請願は、ワーキン

グアアや非正規労働者の増大など、社会の実情を踏まえ、就労の創出、地域の再生、少子高齢化社会に対応する有力な制度として、「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求めるもので、本会議において全会一致で採択し、関係省庁へ意見書を提出しました。

市農業委員会委員に 4氏を議会推薦

◆市農業委員会委員に、窪川哲郎氏（68・塩山上塩後）、手塚勲氏（63・塩山上小田原）、雨宮芳文氏（64・勝沼町等々力）、佐藤定之氏（66・勝沼町下岩崎）を議会推薦しました。

11月 臨時会

給与条例等の 改正案などを可決

11月28日に臨時会が開催され、条例案や各会計の補正予算案など14件の事件について審議を行い、すべての議案を原案のとおり可決・承認しました。

可決しました。

◆改定率は給料月額が平均0・24割、勤勉手当が0・15カ月分の増となりました。

◆甲州市職員給与条例等の一部を改正する条例制定については、人事院勧告による一般職の国家公務員の給与改定及び県人事委員会の県職員の給与等に関する勧告に鑑み、市職員の給料表、通勤手当の支給額、勤勉手当の年間支給月数等について改定を行うとともに、給与の適正化等を図る必要があるため制定するもので、

◆甲州市長等の給与及び旅費条例及び甲州市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定については、市長等に支給する期末手当の年間支給月数が0・15カ月分の増となりました。

◆甲州市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定については、市議会議員に支給する期末手当の年間支給月数が0・10カ月分の増となりました。

新副議長に 日向正議員が当選

新しい議会構成

12月定例会最終日には、佐藤大輔議員の副議長辞職に伴い、副議長選挙が行われ、指名推薦により、日向正議員（66・塩山上於曾）が当選しました。

また、委員会構成も一部変更されました。（新しい議会構成は次のとおり）

【議長】中村勝彦

【副議長】日向正

【監査委員】岡 武男

【委員会構成】（◎委員長、○副委員長、年齢順）

◆総務常任委員会

◎古屋 久 ○黒川武雄

廣瀬宗勝 野尻陽子

平塚 義 日向正

◆教育民生常任委員会

◎佐藤大輔 ○廣瀬明弘

岡 武男 夏八木盛男

矢野義典 相澤俊行

◆建設経済常任委員会

◎古屋匡三 ○岡部紀久雄

川口信子 丸山国一

高畑一幸 中村勝彦

◆議会運営委員会

◎廣瀬宗勝 ○夏八木盛男

岡 武男 古屋匡三

古屋 久 丸山国一

相澤俊行 高畑一幸

◆議会広報編集委員会

◎岡 武男 ○矢野義典

野尻陽子 川口信子

古屋匡三 日向正

岡部紀久雄 黒川武雄

佐藤大輔

平成26年 12月定例会 11月臨時会 議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠) ※中村勝彦議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	高	廣	黒	相	岡	日	佐	川	中	丸	矢	夏	古	古	平	野	岡	廣	結	
			畑	瀬	川	澤	部	向	藤	口	村	山	野	八	屋	屋	塚	尻	岡	瀬	果	
			一	明	武	俊	紀	正	大	信	勝	国	義	木	久	匡	義	陽	武	宗		
			幸	弘	雄	行	久	正	輔	子	彦	一	典	盛	久	三	義	子	男	勝		
12月定例会	議案第87号	甲州市ぶどうの丘施設の指定管理者による管理及び公共施設等運営権の設定に関する条例制定について	○	○	○	●	○	●	●	●		●	○	○	○	●	●	○	○	○	●	否決
	議案第88号	甲州市保育の必要性の認定に関する条例制定について																				
	議案第89号	甲州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について																				
	議案第90号	甲州市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○												
	議案第91号	甲州市行政組織条例の一部を改正する条例制定について																				
	議案第92号	甲州市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制定について																				
	議案第93号	甲州市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について																				
	議案第94号	平成26年度甲州市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○												
	議案第95号	平成26年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)																				
	議案第96号	平成26年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○												
	議案第97号	平成26年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第3号)																				
	議案第98号	甲州市菱山営農センターの指定管理者の指定について																				
	議案第99号	甲州市交流保養センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○												
	議案第100号	甲州市勝沼B&G海洋センターの指定管理者の指定について																				
報告事項		甲州市新型インフルエンザ等対策行動計画																				
請願	請願第10号	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める請願	○	○	○	○	○	○	○													
議員発議案	発議案第6号	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○													
11月臨時会	承認案	承認第3号	平成26年度甲州市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	欠	○	○	○												
	条例案	議案第75号	甲州市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について																			
		議案第76号	甲州市長等の給与及び旅費条例及び甲州市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	欠	○	○	○												
		議案第77号	甲州市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について																			
	補正予算案	議案第78号	平成26年度甲州市一般会計補正予算(第7号)																			
		議案第79号	平成26年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)																			
		議案第80号	平成26年度甲州市診療所事業特別会計補正予算(第2号)																			
		議案第81号	平成26年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)																			
		議案第82号	平成26年度甲州市訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○												
		議案第83号	平成26年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第2号)																			
	議案第84号	平成26年度甲州市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)																				
	議案第85号	平成26年度甲州市水道事業会計補正予算(第2号)																				
	議案第86号	平成26年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算(第2号)																				
議員発議案	発議案第5号	甲州市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	○	○	○	○	○	○	○													

8人の議員が市政を問う！



一
般

質

問

1	相澤 俊行 議員	希望の風	7 ページ
2	矢野 義典 議員	公明党	8 ページ
3	川口 信子 議員	日本共産党	9 ページ
4	黒川 武雄 議員	政和クラブ	10 ページ
5	岡部紀久雄 議員	政和クラブ	11 ページ
6	古屋 匡三 議員	希望の風	12 ページ
7	廣瀬 宗勝 議員	甲輝会	13 ページ
8	野尻 陽子 議員	甲州世直しやるじゃん会	14 ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。また、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいずれも3月上旬の予定です。

12月定例会では、産業・教育・防災・基盤整備など市政全般にわたり、12月11日・12日の2日間、一般質問が行われました。それぞれの内容を要約してお伝えします。



相澤俊行議員

希望の風

ぶどうの丘
民間委託

市民と専門家を含めた経営改善策を

施設の老朽化が進み受託者がいなくなる

問 勝沼ぶどうの丘の管理・運営権の民間委託条例案について、9月定例会と今回提出された条例案の違いは、第12条の「公共施設等運営権の移転の特例」が削除された点のみか。

答 政策秘書課長 そのとおりである。12条が削除されたことにより、運営権の移転に際しては、議会の議決を要することになる。

問 運営権を仮に30年間民間に委託した後、市に返すときはもはや対価設定の価値がなくなったときではないのか。

答 政策秘書課長 契約事項であり、契約が終了したときに返ってくる。運営権の移転があった場合でも事業期間の変更はなく、契約期間は継承される。

問 実施方針には30年と記し、契約条項においては、A社からB社に移転する場合は残りの期間とするのか。

答 政策秘書課長 現在、具体的には30年とは決まっていないが、移転に備えるべき条件について、実施方針に盛り込んでいく。

問 運営権対価の設定評価にあたり、特に必要な情報は何かと考えているのか。

答 政策秘書課長 業務水準やリスク分担等の基本的情報はもとより、収入と支出の実績、利用者の推移、利用料金、人件費、コスト、施設等の更新見込み、実施可能な業務範囲などの情報が必要となる。これらの情報を正確に開示することで、民間事業者の信頼が得られ、円滑な事業参入への検討を促すことにもつながると考えている。

問 現在、ぶどうの丘の経営改善に緊急性はない。代替案として、公共施設総



民間活力導入についての議論がされている勝沼ぶどうの丘

合管理計画策定期間を活用する中で、会議を設立し、市民と経営専門家を含めた経営改善策を検討することを提言するが、見解を問う。

答 市長 ぶどうの丘の施設がそこまで持たず、時間が無い。仮に3年後では受託者はいなくなる。そのくらい厳しいものであることを理解いただきたい。

デマンドバス
利用状況は

問 デマンドバス及び市民バスの利用料金に関するアンケートを9月に実施したが、分析結果から見えてくる課題は何か。

答 市民課長 回答いただいた男女の割合は、男性

が約20割、女性が約80割で、年代別では70歳以上が約75割であった。利用料金については、「ちよūdい」が約68割、「高い」が約18割、「安い」が約12割であった。また、「乗り場が近くて便利」、「車の運転ができないのでありがたい」、「予約が取りにくい」、「台数を増やしてほしい」などの自由意見があった。今後、アンケート結果を分析、公表する中で、利便性の向上を検討していきたい。

問 デマンドバス利用者の利用状況を問う。

答 市民課長 昨年度の利用状況は、月平均で延べ約2200人である。また、月2回以上利用された方は、全体の約3割である。

矢野義典議員

公明党



放課後における児童の健全育成などを目的に運営されている児童クラブ

Q 放課後子ども総合プランの推進
行動計画の策定状況は

A 子ども・子育て支援事業計画に盛り込む

問 厚生労働省と文部科学省は、放課後児童クラブの拡充などを盛り込んだ「放課後子ども総合プラン」を取りまとめた。受け皿の整備を加速させるため、各自治体に行動計画の見直しや策定を促しているが、本市の対応を問う。

答 子育て支援課長 平成31年度に達成されるべき放課後児童クラブの事業量等については、今年度策定中の子ども・子育て支援事業計画の中に盛り込んでいきたい。

問 各児童クラブの施設面積は十分なのか。また、職員の定数、待遇は満たされているのか。

答 子育て支援課長 児童クラブの多くは地区公民館の一室を利用させてもらっている。14施設のうち、面積が若干狭い2施設では空室も利用させてもらっている。職員は、館長2人、指導員29人で、規模の大きい2クラブには3人、他のクラブには2人を配置し、充足している。職員の待遇については、有給休暇を付与し、社会保険、雇用保険に加入している。賃金は他市とほぼ同水準である。

問 都市部の若者を過疎

地の自治体が募集し、地域活動に従事してもらう地域おこし協力隊制度が全国に広がっている。平成25年度には978人まで広がり、任期を終えた隊員の約6割が地域に定住している。本市においても受け入れ体制の強化を提言するが、いかがか。

答 産業振興課長 本市では平成23年度に任期3年で1期生3人を、26年度は2期生2人を委嘱した。1期生3人は事業の延長線上で引き続き地域において活発に活動を行っている。NPO等が中間支援機関となるなど、支援期間終了後も市内で活動していただけるよう細かな対応を行っている。

機能別消防団員制度導入の考えは

問 近年、消防団員数の減少や高齢化により、消防団活動の維持が困難となっ

ている。愛媛県松山市では、機能別消防団員制度を導入し、郵政消防団員、大学生消防団員等が活動に励んでいる。本市においても消防団員確保の推進策として、本制度の導入を提言するが、いかがか。

答 総務課長 本市のラッパ隊、女性消防団員、OB団員は実質的には本制度に準じている。一方で、消防団が団長指令に基づく分団や各団単位の部隊行動を基軸とするのに対し、機能別消防団は特定の部に属さず、一般団員とは異なる活動を行うため、組織の指揮、統制には課題もある。

問 総務省は新たな広域連携に関する取り組みとして、地方中枢拠点都市圏の形成を打ち出した。本市においても峡東地域の自治体と相互連携を図り、広域的・複層的な行政サービスを提供すべきと考えるが、見解を問う。

答 政策秘書課長 総務省構想の要件を満たす甲府市を中心都市とした地域活性化策が効果的なのか、峡東地域の自治体間での相互連携が効果的なのか、研究していきたい。



川口信子議員

日本共産党

Q 雪害対策 今後に生かすべき施策は

A 自助・共助・公助の理念で取り組んでいく

問 雪害対策について、一般家庭における被害状況と今後に生かすべき施策を問う。

答 総務課長 大雪直後の調査では被害総件数が3469件であった。今回の教訓を踏まえ、地域防災計画に基づく各対策部の作業マニュアルや、避難所の開設、医療機関との連携、危機管理防災編の各マニュアル等の作成に取り組んできた。今後も市消防団、自主防災組織や災害協定を締結している団体等との連携強化を図り、自助・共助・公助の理念とともに、次なる災害対応に生かしていきたい。

問 大雪による農業被害の現状と再建に向けた取り組み状況を問う。

答 産業振興課長 撤去に関する申請農家数は312戸で、件数は744件、申請補助総額は約3億2460万円である。また、再建

修繕に関する申請農家数は310戸で、施設件数は635件、申請補助総額は約29億6770万円である。撤去は約8割が完了しているが、再建は約1割である。

問 ぶどうの丘施設の老朽化が進み、30年間で約42億円の改修費用が必要というが、なぜ竣工当時の状態に戻さなければならぬのか。

答 政策秘書課長 算定費用は竣工当時の状態を維持するための費用であり、実際の修繕費用ではない。

問 事業費用に対して事業収益が少ないが、経営努力が足りないのではないのか。

答 ぶどうの丘事務局長 過去5年間の純利益は平成21年度が4469万円、25年度が1086万円である。利益率は1割台から4割台で推移しているが、売上の分析を行い、多くのお客様さまに来ていただくために、食事メニューの工夫や

イベント開催等の経営努力をしているところである。

問 市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案について、趣旨と概要を問う。

答 子育て支援課長 子どもたちに適切な遊び場や生活の場を与えることができ、その健全な育成を図っていききたい。条例では設備の基準、安全対策、運営規定の整備、衛生管理、開所時間及び日数、職員の資格及び資質向上についても規定している。

「道徳の教科化」の答申 どう受け止めるのか

問 中央教育審議会は小・中学校で実施されている道徳の時間を「特別の教科

・道徳」とするよう文部科学大臣に答申した。市教育委員会はどのように受け止めているのか。

答 教育長 特別の教科となった場合でも、各教科など、それを補充、深化、統合する関係は同様であると考えている。今後の動向を見守り、適正で必要な対応と準備を進めていきたい。

問 改正学校図書館法が国会で成立し、学校司書の配置が努力義務化されたが、本市の現状を問う。

答 教育長 現在、12学級以上の塩山南小学校と塩山中学校に司書教諭が配置されるとともに、10人の学校司書を配置し、市内18校全てをカバーできる体制となっている。



昨年2月の大雪から得られた教訓を今後の災害に生かしていきたい

黒川武雄議員

政和クラブ



甲州市よしもとふるさと劇団旗揚げ公演。「雪害を受けた農家を元気づけよう」と開催された

Q 神金・大藤 保育所 休園に伴う対応は

A 転園時の必要経費等を助成していく

問 市立神金保育所及び大藤保育所の休園について、説明会の開催状況を問う。
答 子育て支援課長 神金保育所については、保護者説明会、区長会への説明、地区説明会、保護者との個別面談を行った。大藤保育所については、保護者

説明会、地区説明会を行い、11月に大藤地区全戸に休園のお知らせ文書を配布した。その間に頂いたご意見、ご要望にお応えできるよう努力していきたい。
問 短期間のうちに転園を余儀なくされた園児への対応を問う。
答 子育て支援課長 希望する保育園に入園していただき、転園時の必要経費、また、送迎時の交通費については距離等も勘案し、助成していきたい。

問 説明会、地区説明会を行っている現状を問う。
答 農林土木課長 平成19年度から農地・水保全管理支払交付金制度を活用し、農道維持補修等の地域資源保全管理の取り組みを支援してきた。また、昨年度からは老朽化する農業施設の長寿命化の維持補修工事への支援を10地区において実施している。さらに今年度からは多面的機能支払交付金制度に拡充したことで、農村の構造変化に対応した保全管理の目標を立てた活動組織に対し、継続的な支援が可能となっている。

問 治山治水工事により堰堤工事や山腹工事が実施されているが、支流河川の立ち木伐採について、現状を問う。
答 建設課長 支流河川域における砂防指定地、保安林指定地の大部分は民有林である。支障立ち木の伐採については、地域の方のご協力をいただく中で、危険箇所の把握等を行い、県と協議しながら対策を講じていきたい。

問 「甲州市よしもとふるさと劇団」の旗揚げ公演が11月に行われた。劇団員からは再上演を望む声が上がっているが、考えを問う。
答 生涯学習課長 来年は市制施行10周年を迎えることもあり、さらなる芸術文化振興のため、再上演について検討していきたい。

問 塩山上・下小田原の簡易水道整備事業について、今後のスケジュールを問う。
答 水道課長 平成27年度に上萩原浄水場施設整備工事及び導水管・送水管布

上・下小田原水道整備今後のスケジュールは

問 多面的機能支払交付金制度について、本市にお

問 塩山上・下小田原の簡易水道整備事業について、今後のスケジュールを問う。
答 水道課長 平成27年度に上萩原浄水場施設整備工事及び導水管・送水管布

問 塩山上・下小田原の簡易水道整備事業について、今後のスケジュールを問う。
答 水道課長 平成27年度に上萩原浄水場施設整備工事及び導水管・送水管布



岡部紀久雄議員

政和クラブ

Q 幹線道路整備における重点路線は

A 下塩後22号線を最重点と考えている

問 市中長期道路網整備計画において計画されている、向嶽寺から西関東連絡道路までの区間及び東山梨駅から甲州市内までの区間について、幹線道路整備計画の進ちよく状況を問う。

答 建設課長 国道411号と国道140号を結ぶルートの道路改良計画の中で、向嶽寺から国道140号までの区間については、県に要望している。具体的な路線計画については、県、山梨市とともに線形計画を実施する予定である。また、東山梨駅から塩山バイパスまでの区間については、広域的道路ネットワーク路線として、山梨市と協議しながら、ルート選定、法線計画を検討していく。

問 幹線道路整備における重点路線はどこか。

答 建設課長 市道塩山下塩後22号線の改良を最重点と考えている。

問 2月の記録的な大雪の教訓を生かし、特に甚大な被害のあったハウス農家に対しては、雪害をより抑止していくために、JA、生産者、行政の綿密な連携が必要ではないか。

答 産業振興課長 今後大雪が降る可能性は否定できず、今回のデータを収集・分析し、大雪に備えていくことが必要不可欠である。県ではJAや農家の方から聞き取り調査を行い、降雪時における技術的な対策を「農業用ハウスと果樹棚の雪害防止指針」として取りまとめた。また、一般社団法人日本施設園芸協会においても、大雪被害における対策指針を作成しており、今後、JAを通じて、農家の方々に周知し、大雪対策を講じていきたい。

問 塩山の市街地にある中央通り商店街のコンビニエンスストアが閉店となり、

買物弱者が増しているが、対応策を問う。

答 産業振興課長 交通手段を持たない高齢者の方に対しては、デマンドバスの利用をお願いしている。また、大手コンビニエンスストアの担当者と接触する中で、中心市街地への出店の可能性を模索しているところである。

通学路における安全確保の取り組みは

問 通学路における安全確保の取り組みについて、現状を問う。

答 教育総務課長 平成24年度に通学路の緊急合同点検を行い、速やかに安全対策を実施した。今後も継

続的に取り組んでいくため、26年8月に定めた市通学路交通安全プログラムに基づき、推進会議を設置する中で、対策内容の改善、充実を図っていきたい。

問 市内の国・県道の一部にはグリーンベルトが設置され、児童・生徒に安心・安全を与えているが、市が管理している道路への設置計画を問う。

答 建設課長 市通学路安全推進会議が10月に合同点検を実施し、設置区間を検討した。また、平成27年度からの補助事業による事業化を国に要望している。今後、交通量などを考慮する中で、地域の方々や公安委員会と協議した上で、順次設置していきたい。



市は道路整備における最重点路線について市道下塩後22号線との見解を示した

古屋匡三議員

希望の風



近代化産業遺産に認定されている大日影トンネル遊歩道

文化財課の設置 大日影トンネル遊歩道の位置づけは

登録文化財指定等の保存活用策を検討する

問 行政組織機構の見直しについて、市長は市政の概要で、平成27年4月から市教育委員会事務局に「文化財課」を設置し、地域における歴史・文化や風致・景観を基軸としたまちづくりに取り組むと述べたが、大日影トンネル遊歩道はど

のように位置づけるのか。

答 生涯学習課長 近代化産業遺産整備事業により整備を行い、新たな観光資源ともなっている。歴史的な価値や遺産の位置づけを得るために、登録文化財や指定文化財への指定も含め、保存活用策を検討していきたい。

ぶどうの丘委託条例案 再提出の理由は

問 勝沼ぶどうの丘の管理・運営権の民間委託条例案について、9月定例会において、条例制定は時期尚早と否決されたにもかかわらず、12条だけを削除して再提出した理由を問う。

答 市長 管理・運営権導入の考えは一貫して変わっていない。施設は毎年修繕を行っているが、長きにわたりシンボルとしてそびえ立つようにするには、修

繕・改修を早く実施しなければならぬのが現実である。修繕には5、6年の間に少なからず7、8億円はかかるだろうと思っている。

問 市、市内の事業者や市民が協同出資し、ぶどうの丘を運営することができないか。また、事業管理者やマネージャーの公募など、市長の経営判断で改革ができるのではないか。

答 市長 ぶどうの丘事業管理者はじめ職員、従業員の努力により利益を上げている。そして、それを維持していくためには施設管理をしっかりと行っている。ればならないと考えている。

問 管理・運営権はただではなく、対価を取ると述べているが、PFIとの整合性はどうか。

答 市長 運営権対価については世間の経済状況にもよるため、市と運営権者が話し合った中で決めてい

かなければならない。

問 有害獣被害対策と防護柵の管理運営について、今後、NPO法人と連携し、被害の軽減に努めていく考えはないか。

答 産業振興課長 専門知識を持つNPO法人との連携は非常に有意義だと考えている。今後どのような連携ができるのか検討していきたい。

問 鳥獣被害対策実施隊を設置してほしいが、いかがか。

答 産業振興課長 市町村が負担する活動経費が特別交付税措置されるといこともあり、現在設置に向けて検討を進めている。

問 雪害を受けた農家への撤去費用の支援はどこまで進んでいるのか。

答 産業振興課長 撤去については約80割が完了している。自立撤去で資料が整った方から順次補助金の支払いを開始しており、年度内には全ての支払いが完了できるよう取り組んでいる。なお、国の補助事業であり、会計検査も想定されるため、不足した資料等の提出をお願いする中で対応に努めている。



廣瀬宗勝議員

甲輝会

Q 市政運営 今後の課題と施策は

A 人口対策・高齢者施策の充実である

問 市長就任3期目の1年が経過したが、今後の課題と施策を問う。

答 市長 人口増加対策、人口減少抑制対策、また、高齢者施策の充実が市全体の大きな課題である。今後、も5つの基本政策に基づき、公正、公平、公開の政治姿勢のもと、市政運営に取り組んでいきたい。

問 平成27年度当初予算について、どのような方針で取り組んでいくのか。

答 市長 市税収入の伸び悩みや社会保障関連経費の増加など、依然として厳しい財政運営が強いられるが、市総合計画の基本計画により着実な推進を図っていききたい。

問 人口減少時代におけるまちづくりについて、今後の具体策を問う。

答 市長 過去の人口動向の分析や将来人口の推計等を行い、主要人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定していききたい。

問 市役所本庁舎の職場環境を維持するために、どのような維持管理を行っているのか。

答 管財課長 環境衛生管理技術者を委託する中で、空気環境測定、飲料水の水质検査等を実施している。全ての分野における検査数値は正常を示しており、安心して業務を行える状態にある。

問 本市への観光客数について、どのように分析を行っているのか。

本市への観光客数 どう分析するのか

答 観光交流課長 市観光振興計画では、平成26年の目標を34.7万人と設定している。25年9月末と比較し、約11割伸びていることから、目標は達成できる

ものと考えている。

問 雪害を受けた農家に対する苗木の支援策を問う。

答 産業振興課長 補助率2分の1の果樹経営支援対策事業、補助率3分の1の改植用果樹苗木購入事業等の制度がある。窓口であるJAには多数の相談があり、申請を受け、支援を行っている。

問 雪害を受けた農業用施設等の廃棄物収集について、現状を問う。

答 環境政策課長 2回の拠点回収を行ったが、JAから処理が終了していない施設等があるとの要請があり、1月に3回目の拠点回収を予定している。

問 子ども・子育て支援新制度について、事業計画

を問う。

答 子育て支援課長 本計画は、教育・保育事業量及び地域子育て支援事業量の見込みの把握、また、提供体制を整え、子どもたちの受け入れに関し、施設の確保や質の充実等を図ることを目的としている。現在、子ども・子育て会議を開催する中で、今年度中の事業計画策定に向けて取り組んでいる。

問 人口減少時代における少子化対策と子育て支援策を問う。

答 子育て支援課長 各種支援事業のさらなる充実を図り、絶えず変化する新制度への対応や、子ども・子育て支援事業計画の推進等に努めていきたい。



市・市民・関係団体との協働体制により観光客数の増加に成果を上げている(写真は約10万人が訪れた昨年のかつめまぶどうまつり)

野尻陽子議員

甲州世直しやるじゃん会



資料館として整備が検討される「わだつみ平和文庫」

Q ぶどうの丘 効果的修繕計画の研究はなかったのか

A 内部留保するだけの収益が上げられなかった

問 勝沼ぶどうの丘について、来訪者の推移を問う。

答 ぶどうの丘事務局長 平成19年度は約65万6000人、25年度は約61万6000人で、合併以降、年平均で約65万人のお客さまに来訪いただいている。問 今年度の純利益をど

のくらい見込んでいたのか。

答 ぶどうの丘事業管理者 今年度はお客さまが大変多く、約2200万円の純利益を見込んでいた。問 ここまでに至る間、施設を維持していくための効果的な修繕・改修計画について、研究はしてこなかったのか。

答 ぶどうの丘事業管理者

ホテルと温泉については約15億円の補助金を活用する中でスタートしたが、必要な修繕に対して、内部留保していくだけの収益を上げることができなかった。

問 平成13年度から平成19年度にわたって、約2億8400万円をぶどうの丘事業会計から一般会計に繰り入れていた。施設の修繕・更新費用が発生することが分かっていたと言いつながら、なぜ内部留保してこなかったのか。

答 市長 一般会計に繰

り入れることは通常考えられない。しかし、平成19年度と20年度は合併特例債が活用できない状態を回避するため、やむを得なく約6000万円を繰り入れた。ただ、減価償却を行ってこなかったことも考えられないうことだが、この先どうするかを考えていきたい。

問 本条例案が可決されれば、平成27年6月に事業者を選定し、8月には仮契約をしようが、なぜそれほど急ぐのか。具体的にどこを喫緊に修繕しなければならぬのか。

答 市長 ワインカーヴのことで言うと、現在水漏れが起きており、地下であることから絶えず心配をしている。

問 短期・中長期修繕計画によれば、ワインカーヴの修繕・更新費用は約7300万円と示されており、約3億円の内部留保金を充

てればよいのではないかと。答 ぶどうの丘事業管理者 ワインカーヴは一番の目玉施設である。長く存続させるためにはある程度の費用を掛けなければならぬと考えている。

問 運営権の設定期間について、当初は30年と伺ったが、未定となった理由は何か。

答 市長 30年が長いかわり、短い議論については、この時代の変化の中で、経済情勢や応募する業者の考えもあるため、話し合った中で決定していきたい。

わだつみ文庫の資料は分類して公開を

問 わだつみ平和文庫整備の必要性について、現在約3万3000点の資料や書籍等が収納されているが、学徒出陣した中村徳郎氏の手紙や手記、弟・克郎氏の手紙や家族の写真等と、一般書籍は分類して保存、公開すべきではないか。

答 市長 わだつみ平和文庫として後世に残していくために、しっかりと分類し、資料館として公開していきたい。



卒寿を過ぎて

広瀬きみ子さん (塩山上井尻)

「人生七十古来稀なり」。私が子どもの頃は70歳以上生きた人はめったにいませんでした。今は「人生百歳古来稀なり」と言わねばならなくなりました。男女ともに平均寿命が80歳を越えたからです。私も「九十の坂」を一年前に越えてしまいました。

新年を迎えて、さて今年はと思うと、健康のこと。今の体力をできるだけ維持することです。食事は手作りの無農薬野菜に肉、魚、卵を適宜に加え、腹八分、ゆつくりとよくかみます。散歩の代わりに野菜や花づくりと庭の清掃。余暇は読書。下手の横好きで短歌と漢詩。なお、今年の宿題は身辺整理。戦前の人間は使える物を捨てるのは悪事と思われ、ごみ袋に入れては出すの繰り返しです。



貯筋

中村文雄さん (塩山下塩後)

50代の頃、高血圧で薬を勧められ、健康を害して医療にお金を掛けるより自分の体に投資して健康になろうと思い、近所のジムに通い始め、運動とバランスの良い食事、心掛け、減量に成功しました。安易に薬を選択しなかったのが長年続けていた献血も継続することができ、自己管理の大切さを痛感しました。

高齢化社会の中で最近、健康寿命が話題になっていきます。平均寿命より男性が11年、女性が13年低いので、この差をどう縮めるかが問題で、若者に負担を掛けず、自立した日常生活を送ることが問われています。そのためには寝たきりにならず、体を動かし続けることができる筋力をつけること。今年もさらに「貯筋」に励みます。無理せず、薬をせず。



健康で楽しく元気に

有賀和子さん (大和町日影)

「わたしの抱負」と考えて、最初に思ったのは「健康」ということでした。昨春秋に急に足が痛くなり、正座ができなくなることから整形外科で受診したところ、運動不足で筋肉が衰えているとのことでした。ショックでした。自分ではまだまだ若いつもりでいても体は年齢なりに正直です。仕事は座っていることが多いので、ウォーキングやストレッチ、手軽にできるラジオ体操をと思い、始めました。外を歩くと地域の人と話す機会も増えて楽しみです。

今年は今の体力を維持するために、頑張つてやり通したいです。また、地域の行事にはできる限り出席し、楽しく元気に生活することを今年の抱負としたいです。



農業を通しての発信

荻原慎介さん (勝沼町勝沼)

近年、グローバル化に伴い、経済、観光面で海外が身近になったと感じています。

僕も昨年一年間ニュージーランドで過ごす機会があり、そこで感じたことは日本と海外、また、国内では地方と都市部が身近になったと感じますが、地方と地方間には今ひとつ隔たりがあるような気がします。

「グローバル」という言葉をよく耳にしますが、国内では近い存在の地方と地方間に物理的、経済的に距離を感じるのは僕だけでしょうか？

僕は農業を通してこの距離感を、技術面、また、労働力など協力し合えるようにできないかと、今年から少しずつではありますが、小さな行動を発していききたいと思っています。

勝沼ぶどうの丘 民間委託条例案 委員会では賛成多数で「可決すべきもの」

建設経済常任委員会を12月17日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市ぶどうの丘施設の指定管理者による管理及び公共施設等運営権の設定に関する条例制定について
問 短期・中期修繕計画を策定した設計業者への委託料を問う。

答 政策秘書課長 73万2千400円である。
問 今後5年間で喫緊に必要な修繕費はどのくらいなのか。

答 ぶどうの丘事務局長 試算した結果、ワインカーヴの漏水修繕に約4200万円、施設全体で年間約1億5000万円、今後5年間では7億円程度が必要となる。

問 民間活力の導入についてはさまざまな手法がある中で、PFIコンセン

ション方式を選択した理由は何か。

答 政策秘書課長 運営の自由度が増すことにより、民間の持つ専門性、経営能力、技術ノウハウ等が発揮されることが期待できる。また、民間事業者が得た事業収入の中で施設の修繕・改修等が可能となり、利用者へのニーズに合った施設整備が可能となるためである。

問 ぶどうの丘職員の処

遇はどうか。

答 ぶどうの丘事業管理者 全ての職員を継続雇用してもらえるよう考えている。

問 受託者がなかった場合はどうするのか。

答 政策秘書課長 ない場合は直営も考えられる。

問 そうなった場合、施設の修繕費用はぶどうの丘が単独で捻出できるのか。

答 ぶどうの丘事業管理者 修繕費以上の収益を上げ

なければならぬ。2、3年先は大変厳しい状況になると思っている。

問 運営権に抵当権を設定し、仮に運営権者である会社が倒産した場合、債務は土地所有者である市が負うというリスクをどのように考えているのか。

答 政策秘書課長 そうならないよう、しっかりとモニタリングしていきたい。

※建設経済常任委員会においては、本条例案は採決の結果、賛成多数で「可決すべきもの」と決しました。

下水道料金の改定 今後の方向性は

■平成26年度甲州市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

問 下水道審議会において下水道料金改定の審議を行っているが、今後の方向性を問う。

答 都市整備課長 審議会から答申をいただいた後、平成27年3月定例会に料金改定に係る条例改正案を提

出したいと考えている。

■甲州市菱山宮農センターの指定管理者の指定について

問 これまでもフルーツ山梨農業協同組合に指定管理を委託していた中で、どのような特徴があったのか。

答 産業振興課長 地域農業者の技術向上を目的とした施設だが、地域の方にも有意義に利用されている。

■甲州市交流保養センターの指定管理者の指定について

問 株式会社セイウンが指定管理者に選定された理由を問う。

答 政策秘書課長 類似施設の管理・運営実績が豊富で、低額な指定管理料の設定、自主事業を多く取り入れている点などである。

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第8号)

問 ワイン振興費を増額計上した理由を問う。

答 産業振興課長 フランスのボルドー、イギリスのロンドンへ視察研修に行くとための諸経費である。



ぶどうの丘の現地視察を行う建設経済常任委員
(写真はワインカーヴ)

総務

平成27年4月に

組織機構改革を実施

総務常任委員会を12月18日に開催しました。

主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市行政手続条例の一部を改正する条例制定について

問 条例改正を必要とする理由は何か。

答 総務課長 行政手続法の一部改正によるものがあるが、環境問題や建築等

に関して、行政指導を不服とする利害関係が増えてきた社会背景もある。

■甲州市行政組織条例の一部を改正する条例制定について

問 本市の行政組織機構は各課が横並びで、課相互の情報共有に課題があるのではないか。

答 政策秘書課長 庁議、課長会議、部門別会議を開催している。今回の組織機構改革についても各課長からの意見を積み上げたもの

である。

■甲州市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制定について

問 市に残る金額はどのくらいか。

答 政策秘書課長 寄附者への贈呈品に3割、送料に1割の経費が掛かるため、市に残るのは6割である。

問 寄附金を財源として実施する事業に、市長の自由裁量を加える理由は何か。

答 政策秘書課長 寄附金使途について、寄附者の

意図に合わせるためである。

■平成26年度甲州市一般会計補正予算(第8号)

問 大和庁舎の電気料を増額計上した理由を問う。

答 大和支所長 2月の大雪により大和公民館を帰宅困難者の一時避難所として解放したため、契約電力量が増加したからである。



「甲州市への思い」から寄せられるふるさと寄附金

掛金が3万円から1万6000円に減額されるが、出産育児一時金の支給額は変更されるのか。

答 国保年金課長 制度に加入している医療機関については3万円の加算金を含めた42万円の支給を行うため、総額に変更はない。

■甲州市勝沼B&G海洋センターの指定管理者の指定について

問 勝沼中学校の授業での利用に関して対応を問う。

答 生涯学習課長 授業や催し物については優先的に無料で使用できる。

■平成26年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 出産育児費給付経費を増額計上する要因は何か。

答 国保年金課長 当初見込みより、出産件数が増えたためである。



効果的・効率的な管理業務を行うため、指定管理者制度が導入される勝沼B&G海洋センター

教育民生

勝沼B&G海洋センター

指定管理者制度を導入

教育民生常任委員会を12月17日に開催しました。

主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市保育の必要性の認定に関する条例制定について

問 育児休業から職場復帰する1カ月前に保育所に

預けることは可能なのか。

答 子育て支援課長 不可能であるが、一時保育で対応している保育園もある。

■甲州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

問 児童クラブの利用対

象を小学校6年生まで拡大した場合の対応を問う。

答 子育て支援課長 入所希望者数にもよるが快適な環境づくりに努めていきたい。

■甲州市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

問 産科医療補償制度の

